



真庭のまちを良くするしくみ。 赤い羽根 共同募金



↑社協の「きょうちゃん」と募金活動!
(ローソン湯原温泉店 2021年10月)

温かいご協力
ありがとうございます。

真庭市社協イメージキャラクター
社協の「きょうちゃん」



ご協力をお願いします。 ～赤い羽根共同募金～

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。

赤い羽根共同募金はコロナ禍においても「つながりをたやさない社会づくり」に向けて、子どもや高齢者、障がいのある人などを支援する福祉活動や、災害時のボランティアセンター設置などの被災地支援に役立てられます。

皆さまから寄せられた「共同募金」は、ふれあい・いきいきサロン活動や小・中・高等学校で行われる福祉学習、また、子育て支援活動、障がい者施設等の車両整備など、市内の福祉活動を支えています。

また、「歳末たすけあい募金」は、新たな年を迎える歳末時期に重点的に行う市内の福祉活動に、市民の皆様のご理解と参加をお願いするものです。

歳末配食サービス、高齢者世帯や一時的に生活に困窮されている世帯への友愛訪問などの福祉活動に活かされています。

「じぶんの町を良くするしくみ」として、身近な地域の福祉活動を支える募金にご理解とご協力をお願いいたします。

←つかいみち詳細は次のページに紹介

- 一世帯あたり
 - ★共同募金 500円
 - ★歳末たすけあい募金 300円
- のご協力をお願いしています。

ありがとう! メッセージ

共同募金の助成を受けた団体や事業参加者からのメッセージをご紹介します。

★勝山子育て広場やまっこ(勝山)代表者から

子育て中に、家族以外の大人と話したい...そんな時に来もらえる場所として、毎週月曜日に活動しています。気軽にお母さん同士で話ができる場所として喜ばれています。

また、親子で身体ほぐし体操をしたり、自然遊びを楽しんだり、子育てに役立つイベントも開催しています。

★コミュニティカフェみつがしわ(八束)参加者

- ・みんなと会えるから楽しいです。
- ・元気に参加する為に、教えてもらった体操のポスターを貼って家でもしています。
- ・体が悪いけど、みんな優しく、人との会話が楽しくて参加しています。

今年(令和4年度)の共同募金は、このように使われます。

共同募金は、地域の皆さまと社協が共に進める、身近な地域の福祉活動に活かされます。真庭市社協は、次の事業に取り組みます。



共同募金事業 3,700,000円

ふれあい・いきいきサロン	1,764,000円	48%
学校の福祉学習支援	540,000円	15%
社協だより・ボランティア便り	445,000円	12%
福祉研修会・座談会	415,000円	11%
夏のボランティア体験	231,000円	6%
たべものステーション	155,000円	4%
貸出用福祉機器の整備	150,000円	4%

*市内全域を対象とした事業に活かされています。



ボールを使って貯筋体操中！サロンさくら
(北房、水田地区、今井、
やまだかみ・しも
山田上・下)



車イス体験教室で社協職員
から介助方法を学ぶ天津小
学校4年生の児童(落合)



「集い」をテーマに話し合う座
談会を二川地区で開催(湯原)



親子で気軽に集える子育て
サロン！
勝山子育て広場やまっこ
(勝山保健福祉センター)

歳末たすけあい事業 3,000,000円

歳末ふれあい・いきいきサロン	1,401,000円	47%
歳末友愛訪問(北房、落合、久世)	655,000円	22%
歳末配食サービス (勝山、美甘、中和、八束、川上)	385,000円	13%
歳末生活支援便(湯原・市内全域)	180,000円	6%
子育て支援事業 (北房、久世、勝山、中和、八束、川上)	161,000円	5%
ボランティア講座(市内全域)	142,000円	5%
おでかけ交流事業(湯原)	46,000円	1%
コミュニティカフェみつがしわ(八束)	30,000円	1%



民生委員が高齢者世帯359戸
を友愛訪問、ネックウォーマー
(首巻)を届けました(久世)

ボランティア手作りの「あっ
たか弁当」を75世帯に民生委
員がお届けしました(川上)



ボランティア講座で「自閉症児
童のための新しい居場所」につ
いて学ぶ勝山高校生(勝山)



誰もが気軽に集える地域の居場所
「コミュニティカフェみつがしわ」で
ポッチャ競技中！(八束)



皆さまの善意が福祉活動に活かされています

善意銀行だより

【敬称略・受付順】

※真庭市社協への個人からの寄付は税額控除対象となります。

寄付金 八月三十一日

合計 六十三万二千二百五十円

【本所】

井本 剛司(東京都 篤志寄付)
高橋 宣好(草加部 香典返し)
高橋 宣好(草加部 忌明け)
高井 光弘(草加部 香典返し)
清友 佐久扶(台金屋 忌明け)
徳山 里恵(久世 香典返し)
徳山 里恵(久世 忌明け)
三村 恭史(中原 香典返し)
村松 洋和(台金屋 香典返し)
湯川 孝市(檉西 香典返し)
湯川 裕行(檉西 香典返し)
今井 義信(久世 香典返し)
今井 義信(久世 忌明け)
【北房支所】
中山 辰子(上皆部 見舞返し)
小藤 博之(上中津井 忌明け)
亡 中山 邦夫
中山 明(上中津井 香典返し)
吉田 美由(下皆部 香典返し)
【落合支所】
吉原 潤(下方 香典返し)
森谷 純世(田原山 香典返し)
小林 正和(古見 香典返し)
白石 英幸(上河内 香典返し)
小寺 幸(中 香典返し)
門野 始(佐引 香典返し)

【勝山支所】

亡 岡田 旭

黒瀬 千恵子(勝山 香典返し)
山口 義和(上 香典返し)
小畑 もゝ江本 郷 香典返し)
小畑 もゝ江本 郷 忌明け)
郷矢 浩志(本郷 香典返し)
郷矢 浩志(本郷 忌明け)
福富 吉明(若代 香典返し)
今中 浩(山久世 香典返し)
金定 義和(月田 忌明け)
【美甘支所】
廣岡 敬子(美甘 忌明け)
【湯原支所】
渡辺 正則(湯原温泉 忌明け)
佐藤 勇治(種 香典返し)
佐藤 勇治(種 忌明け)
佐藤 勇治(種 忌明け)
【中和支所】
中谷 政司(蒜山別所 香典返し)
【八束支所】
一九四二年生まれ有志
進 潤子(蒜山下見 (篤志寄付) 香典返し)
【川上支所】
多久間 稔(蒜山徳山 香典返し)

善意銀行へのご寄付をありがとうございました。
ご寄付は社会福祉協議会の
行います各種社会福祉事業へ
活用させていただきます。

令和4年度

ふるさと会員一覧

【敬称略・受付順】(8月31日)

沖田 巧(総社市)
安江 直美(愛知県瀬戸市)
松本 孝俊(津山市)

【お詫びと訂正】

社協だより9月号2ページ目
に掲載した記事のお名前に誤
りがありました。訂正してお
詫び申し上げます。
ゆつたりあし(誤)若田 美香さん
ゆつたりあし(正)原 祐子さん

心配ごと相談所(10月の予定) ※相談無料、予約不要です。

北房(真庭市役所北房振興局)	27日(木)	9時～12時
落合(落合老人福祉センター)	13日(木)	
久世(真庭市役所本庁舎)	19日(水)	
勝山(勝山保健福祉センター)	7日(金)	13時～16時
美甘(真庭市役所美甘振興局)	11日(火)	
湯原(湯原保健福祉センター)	20日(木)	
八束(八束老人福祉センター)	7日(金)	9時～12時

※秘密は固く守られます。 電話(0867)42-1005
FAX(0867)42-2263

第18回

真庭市社会福祉大会
を開催します!

入場無料

日時 令和4年11月19日(土)
第1部 式典 13:00～
第2部 記念講演 14:10～

会場 勝山文化センター(真庭市勝山319)

申込不要でどなたでもご入場いただけます

記念講演

「ウクライナ侵攻における避難者支援活動(仮)」
特定非営利法人AMDA(アムダ) 看護師
長谷 奈苗 氏

同時開催

協賛団体による販売・展示
赤い羽根共同募金コーナー 他

※当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温・マスクの着用等にご協力をお願いします。

ライフパントリーのお知らせ

※パントリーは、キッチンの収納スペースの意味です。

【日時】

令和4年10月22日(土)11時～12時

【会場】

八束老人福祉センター(真庭市蒜山富山根154-1)

コロナ禍等で経済的な困窮や不安がある世帯への
緊急的な一時支援として、食品や衛生用品などの無料
配布を行います。

申込期間

令和4年10月3日(月)～10月19日(水)

申込方法

申込書を最寄りの社協に持参いただくか、メール、
FAX、郵送、電話のいずれかで申込みください。申込書
は真庭市社協ホームページからダウンロードできます。

*アレルギー対応はしていません。

お問合せ:真庭市社協(まにわさえ愛ネット事務局)

電話:0867-42-1005 FAX:0867-42-2263

E-mail:m.shakyo@gmail.com

地域で特色ある見守りを 八束地区社協の活動

八束地域から
こんにちは！

山野志乃専門員

八束地区社協では、福祉委員が担当地区内の救急医療情報キットを設置している方のお宅へ、キットの情報に変更がないか確認を兼ねて訪問活動をしています。

一軒一軒訪問して確認することで最近の様子を聞けたり、遠方の親族の話を知ることが出来たりして、今後の見守り活動に役立てることが出来ています。

また、以前はつどいの会として外出交流事業を行っていましたが、現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、代わりに熱中症対策の飲み物を持って友愛訪問活動をしています。

友愛訪問活動では、75歳以上の独居の方と80歳以上の高齢者世帯を対象に訪問しています。

活動を続けてきたことで、近所の方から「最近〇〇さんは良く挨拶をしてくれる」「元気にされているよ」など、様子を聞くことが出来るようになってきました。

他にも、それぞれの地区で「愛(季節)のお便り訪問」や、独自の見守り活動を行っています。

住民の高齢化が進んでいますが、住民同士がお互いに助けあい誰もが安心して住みやすい地域づくりを目指して活動を行っています。



福祉委員による友愛訪問の様子

実習生 レポート

～社協活動から学ぶ、助けあいの地域づくり～

川崎医療福祉大学 医療福祉学科三年

にし西野 うい有依 しらいし白石 すずの鈴乃

私たちは、8月17日から24日間、真庭市社会福祉協議会で実習を行いました。草加部地区に滞在し、草加部地区の民生委員・福祉委員、地域のサロンについて学びました。

草加部地区を知るために、地域を歩いて回り、住民の方に話を伺い、地域の現状を調べたところ、全ての自治会でサロンが開かれている強みや、地域福祉活動の担い手不足という課題などを発見しました。

また、実習では地区内にお住まいの一人暮らし高齢者のご自宅に伺いました。会話の中で普段の生活の様子や困りごと、楽しみにされていることなどを伺い、その方の思いを知ることができました。

サロン活動では大上・寿和・浜の運動型サロンに参加しました。健康の維持、介護予防のための「げんき☆輝きエクササイズ」を行いました。参加者の「エクササイズの効果を実感している。」「みんなと会えて嬉しい。」という楽しそうな声からサロンが憩いの場になっていると感じました。

そして、社協と地域で共に地域住民同士の交流を行える場を作ることによって地域活動が活発になり、住民同士の助け合いのきっかけになっていると感じました。社協がこれらの活動の支援を行い、地域住民の交流の場に力を入れて活動をしていることを学びました。



サロンの参加者と一緒にクイズで楽しめました



実際にたくさん話を聞いて、地域の中では民生委員や福祉委員、近隣住民などと助け合いながら暮らしていることが分かりました。助け合う意識と住民同士や社協など専門機関との関係作りができていたと感じました。
(西野)



生活上の困りごとをお聞きする訪問活動を通して、社協の役割の一つに地域で助けを必要とする人とその人が必要な制度やサービス、専門機関や専門職を繋げる役割があると感じました。

さらに地域住民同士の助け合いを支える役割も社協には求められていると理解しました。
(白石)

広報担当の つぶやき

秋といえば「スポーツの秋」「食欲の秋」と様々ですが、10月1日から「共同募金の秋」も始まります。市内の各地域でも募金活動が行われますので、今年もご協力をお願いします。



真庭市社協HP